

平成23年度第2回京浜臨海部コンビナート高度化等検討会議 議事要旨

日 時:平成23年8月1日(月) 15:00～17:00

会 場:川崎市産業振興会館 11階 第6会議室

主な議事内容

1 部会等での検討テーマの報告と今年度の取組みについて

(1)FFS(高経年化設備の安全評価手法)部会からの報告

- ・経済産業省が認める例示基準にないFFS評価技術の適用に関して、県による独自基準の作成も検討したが、実現に向けた課題が多く、対応は難しいとの結論となった。
- ・対象が限定されかつ認可へのハードルはかなり高いと予想されるが、現行の仕組みの中で、事業者個々として適用を申請する方法について、部会参加企業で共有化した。
- ・KHK(高圧ガス保安協会)においてFFSの例示基準化に向けた議論が再開されることとなったことから、当面その動きを見守りつつ、必要に応じて対応を再検討することとなった。

(2)水素、LNG冷熱活用に関する勉強会等について

- ・水素の活用については、引き続き検討を進めるとの報告があった。
- ・LNG冷熱の活用については、前回距離や規制の壁が示されたものの、引き続き様々な可能性を探ることとなった。
- ・新たな連携策の抽出のため、小規模ミーティングを随時開催することとなった。

2 今年度の検討会議の進め方について

- ・5月に策定した「京浜スマートコンビナートの構築に向けて」で掲げた取組みの方向性に沿って、具体的な取組みを進めることとなった。
- ・東日本大震災を受け、安全・安心に向けた取組みに関連し、県、川崎市、NPOからそれぞれ報告があり、今後も、企業の取組みも含め引き続き情報交換を行っていくこととなった。

以上